



# 進路だより



都立町田の丘学園校長 三浦 昭広  
進路指導部 第8号 令和7年1月23日発行

新しい1年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

この冬は、様々な感染症が猛威を振るっており、学校でもお休みの連絡が絶えません。学年の総まとめに向けて、健康第一で過ごせるようにしたいものです。

現在、中学部3年生は、高等部への入学準備を進めています。高等部の作業学習に参加し、先日は、面接時の入室練習を繰り返していました。1月29日にはA部門、2月4日にはB部門の入学相談日があります。

高等部1年生は、進路を考える取組の第一歩となるインターンシップを今月末から予定しています。一日だけだったり、保護者の見学がなかったりと多少物足りなさも感じられるかもしれませんが、1年生の目標である進路先を「知る」ことを意識して、実りあるものにしたいと思います。御家庭には体調管理・昼食準備・送迎や日誌の記入など御協力いただく事も多々あるかとは思いますが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

高等部3年生には、現場実習を継続している生徒がおります。企業等の一般就労では、採用選考を残すのみという生徒もおります。進路先を決めて、内定通知書をいただける日に向けてそれぞれ努力をしているところです。

基本的な感染症対策をしながら、学校生活を楽しみ、次のステップに向けての準備を行っていきましょう。

## 【 PTA 進路研修会報告 】

昨年12月19日、本校視聴覚室にてPTA主催進路研修会が行われました。

今年度は本校の授業研修等で日頃よりお世話になっている臨床発達心理士の磯部裕子先生をお招きし、『夢をもって一歩ずつ～卒後の生活のために、今できること～』というテーマで御講演いただきました。ZOOMでのリモート参加の方もいらっしゃいました。

元特別支援学校教諭であったこともあり、重度の知的障害をおもちの息子さんを育てられたお母様として、保護者に寄り添った内容のお話をとてもわかりやすくしていただきました。息子さんは現在、グループホームを利用しながら就労継続支援B型事業所でお仕事されているそうです。

お話のキーワードは「夢」であり、それに向かって一歩ずつ歩まれていることがとても良くわかりました。もちろん、その道のりは平坦ではなかったでしょう。しかし、発達段階に応じて、「こうしたらどうなるかな？」と少し先の未来にワクワクしながらそばにいる磯部先生の様子を想像しながらお話を伺いました。お話には具体的な制度の利用法もありましたが、すぐにでも生かせそうな、ちょっとしたコツやアドバイスであふれていました。きょうだいに関してのお話も興味深いものでした。

講演の後に会場とリモート両方の参加者から質問や感想が多く寄せられました。それにも丁寧にお答えいただき、講演予定時間はあっという間に過ぎていきました。

PTAの役員の皆様も細部にわたり御準備ありがとうございました。

## 【 A部門高等部1年生インターンシップ 】

A部門高等部1年生では、1月20日（月）から2月5日（水）まで町田市内の福祉事業所でインターンシップに取り組めます。

授業の中で、iPadで事業所について調べたり、先輩から話を聞いたりして情報を集め、少しずつ心構えをしてきました。インターンシップの目標は、地域の進路先について知ること、日頃の学習で身に着けたコミュニケーションや挨拶などのマナーを実践することです。多くの生徒は中学部2年でインターンシップを行っていますが、その経験も踏まえ、高等部になり社会に出ていくことが身近になったところで改めて進路について知る機会にさせていただきたいと思います。インターンシップ先は初めて行く場所であり、初対面の人が多くて緊張すると思いますが、そのなかでも事業所の雰囲気を感じ、一緒に作業やレクなどに取組む中で楽しさややりがいを感じてもらいたいと思います。

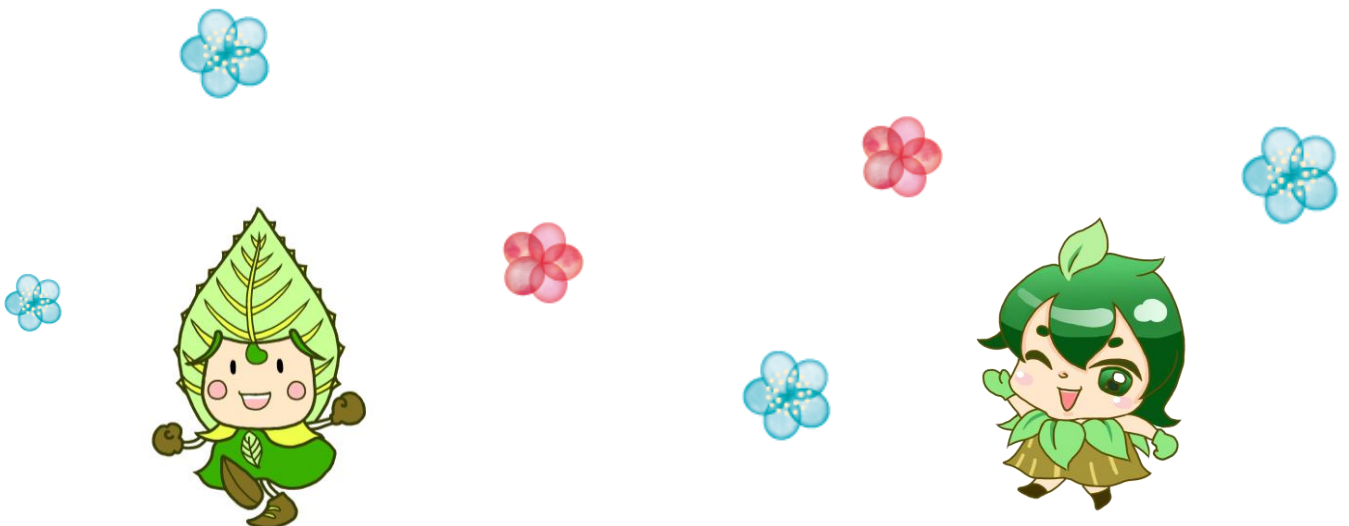
保護者の皆様には、事前に見学に行っていたいだいたり、送迎をしていただくなど御協力いただきますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 【 B部門高等部1年生インターンシップ 】

1月20日(月)から3月14日(金)の期間、高等部1年生がインターンシップ（体験実習）に取り組めます。

インターンシップのねらいは、本人や保護者が関心のある職種（環境）に挑戦し、仕事の基本や職種について知るとともに、自分の好きな仕事、苦手なこと、課題等を知ることです。同時に、“初めて一人で仕事をする”“初めて一人で電車通勤する”等、今の自分にとって少しだけ難しい、または初めて取り組む課題を設定し、そこに向けて冬休みに御家庭で練習していただいたり学校で学習したりして臨んでいます。インターンシップ終了後、評価を基に少しでも自分の働く姿をイメージしてもらいたいと思います。また保護者の方と一緒に、本人の自立と社会参加に向けた手立てを考え始められたらと願います。

また、2月3日(月)～6日(木)の間は、校内実習を行います。3つのグループに分かれて、校内で一日さまざまな作業を行います。校内実習のねらいは、長時間同じ作業に集中して取り組むこと、報連相を自主的に行い習慣化していくことと考えています。通常の授業体制と異なる環境の中で、働くことについて考える期間になるよう、進めていきたいと思います。

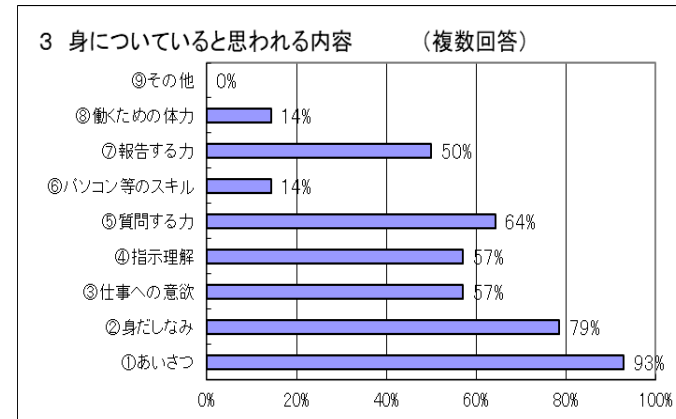
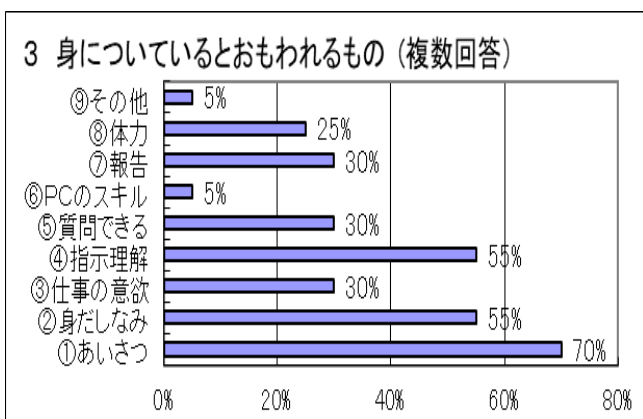
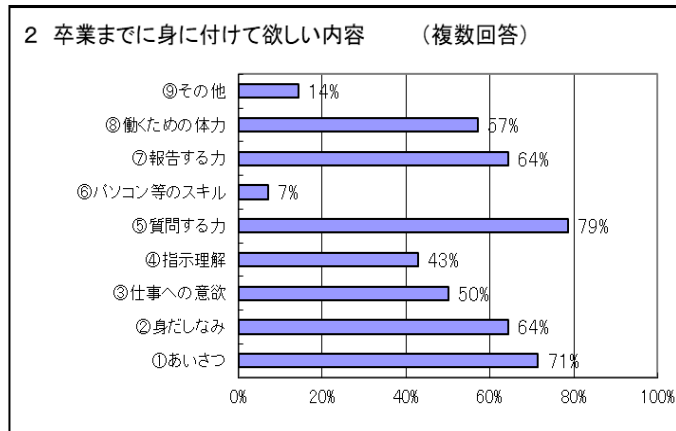
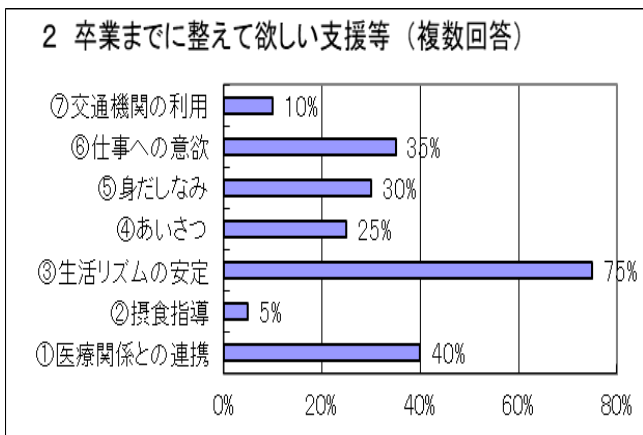


# 【 学校評価 】

今年度も現場実習やインターンシップでお世話になった福祉事業所や企業等に学校評価アンケートをお願いいたしました（回答数：福祉事業所19、企業等14）。以下、主な項目を抜粋してご紹介いたします。

## 【福祉事業所】

## 【企業等】



## 【今回のアンケートを振り返って】

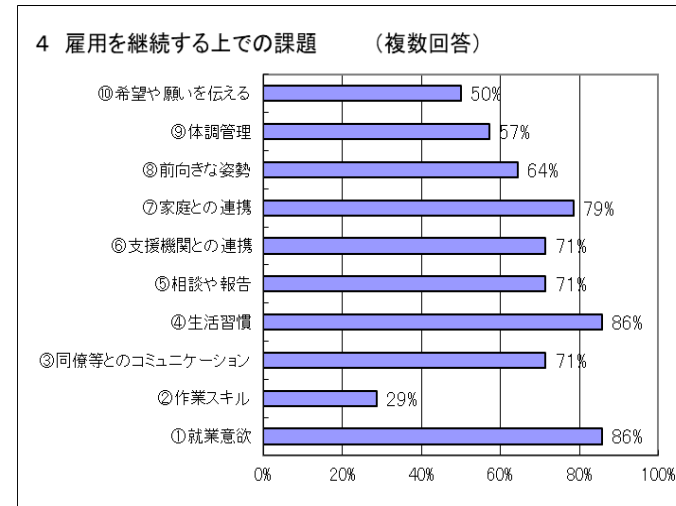
### 総括

昨年度に比べて「あいさつ」や「報告する力」が身に付いている生徒は多いようで、すべての項目で身につけていると思われるものは数値が増えています。特記事項にも、多くの良い評価をいただきました。一方で、「生活リズムの安定」や「体力」が必要と思っている事業所はとも増えているので、学校では限られた時間と場所で体力をどのようにつけていくかが課題です。また、御家庭では日常生活と違ったリズムに馴染めるような経験（ショートステイの利用など）ができるとういでしょう。

パソコンのスキルに関しては、一人一台端末、情報の授業の実施などが数値の増加に表れているようです。今後注目すべき点です。

企業等の雇用継続のポイントとしては、生活習慣を整えることと、支援機関との連携であると考えられる事業所が多かったです。家庭も支援機関の一つととらえていけると理想的です。

学校からの訪問のみならず、事業所の方々から来校されて普段の生徒の様子を見ていただく機会が増え、相互理解がより進んでいるという印象でした。



アンケートへの御協力をいただき、ありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

## 【 移行支援 】

### ＜ 移行支援（移行支援会議） ＞

新年を迎え、高等部3年生の学校生活も残すところ3カ月弱となりました。卒業に向けた行事や授業の合間に、個々に行われる進路先との契約や手続きがあり、3学期はあっという間に終わってしまいます。4月からはそれぞれ別の進路に進むこととなりますが、それに伴い、これまで実習先等に生徒の情報をお伝えするために活用していた「学校生活支援シート」を、「個別の移行支援計画」として内容も進路先に必要な情報に変更していくことになります。学校生活で培ってきた力をもとに、進路先で十分に力を発揮し、また安心して過ごすことができるようにするためのベースとなる資料です。記載内容の変更を2月初旬までに行い、2月末から3月にかけて行われる進路先との移行支援会議では、この「個別の移行支援計画」を基に引継ぎが行われます。

社会に出るといことは、個々の生徒にとって重要な分岐点となります。新生活を安心してスムーズに始めるために、必要なことをしっかりお伝えできるようにしていきたいと思います。

移行支援会議は、「学校では不安定を示すサインとしてこのような行動や言動が見られた」「このように言葉掛けを行うと、少しずつ落ち着きを取り戻していくことができた」「この治具を使うと一人で作業を行うことができた」など、文面だけでは示すことのできない貴重な支援情報をお伝えしていくと同時に、今後様々な支援者（支援機関）がどのような役割をもって生徒たちの豊かな社会生活を支えていくのか、

確認を行う場でもあります。保護者と学校、地域生活支援センター、計画相談事業所、医療機関等4月からの生活を支えていく支援のネットワークを確認しましょう。学校は「出身校」として支援者ネットワークの一員となり、卒業生を支える一端を担うこととなります。卒業後3年間は、地域の障がい者支援センター（福祉事業所通所の場合）、または就労支援機関（企業就労の場合）とともに、アフターケアとして職場訪問や進路先での様々な困りごとの相談を担います。御心配なことがありましたら、御遠慮なく、担任または進路担当までお知らせください。



町田の丘学園 進路指導部

＜東京都立町田の丘学園＞

【電話】 042-737-0570 【FAX】 042-737-0580